**五十嵐　さか江 （いがらし・さかえ）**

**１、プロフィール**

川柳作家。昭和元年に川柳入門。以後、県内、県外の各柳誌で活躍。青森・岩手両県柳人の育成に努め、また県文芸協会理事として、他文芸と川柳の交流に努めた。

＜生没＞

1908（明治41）年12月27日 ～ 1979（昭和54）年９月４日

＜代表作＞

 　川柳句集『雪の勲章』 『母の独楽』

＜青森との関わり＞

上北郡野辺地町に生まれる。青森、岩手両県内の営林署に勤務。

**２、作家解説**

明治41年野辺地町に生まれる。本名栄。野辺地小学校（高等科３年）卒業。昭和18年の野辺地営林署勤務をはじめ、青森、岩手両県の営林署に勤務。41年退職後、津軽森林組合に再就職。48年退職。昭和元年より川柳入門。県柳壇草創期より川柳を始め以後一貫して創作を続ける。県柳誌として、戦前は「みちのく」「川柳隊｣に参加、戦後は「うき世」「ねぶた」「かもしか」「岩手」等。また県外の柳誌では「時の川柳」「川柳思潮」「柳都」「宮城野」等で活躍。30年第１回「思潮賞」、37年「不浪人賞」、49年「宮城野賞」、50年「不浪人賞」を受賞。川柳指導者として多数の若手柳人を指導育成した。45年より県文芸協会入会。以後同会新人賞選考委員、理事を務め、他文芸と川柳との交流を深くさせた。昭和54年９月死去。享年70。

「北の街石黙々と冬を抱き」－平成４年川内町の川内川渓流遊歩道「川柳の森」句碑群の一基として句碑建立。

**３、資料紹介**

〇『雪の勲章』

図書

1976（昭和51）年10月20日

190ｍｍ×133ｍｍ

川柳句集。著者の第一句集。昭和23年から昭和50年間の作品を自選、300句を所収。著者の代表的な作品集で県柳壇の評価が高く第２版も発行。発行者佐々木達司。発行所文芸協会出版。

〇『母の独楽』

図書

1985（昭和60）年９月13日

183ｍｍ×130ｍｍ

川柳句集。著者の第二句集で死去後出版された遺句集。著者の第一句集『雪の勲章』に載らなかった作品と、以降の作品を高田寄生木が編集した。発行人杉野草兵。発行所かもしか川柳社。